

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 565 号	氏名	荒井 淳一
学位審査委員	主 査	中島 正洋	
	副 査	河野 茂	
	副 査	江口 晋	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、病理診断が困難とされる同時多発性肺癌と肺内転移の鑑別を、array comparative genomic hybridization (aCGH) 法により比較検討したもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 病理学的に同時多発性または肺内転移と診断された症例の主／副腫瘍のパラフィン切片を対象に、aCGH によるコピー数変化と Epidermal Growth Factor Receptor (EGFR) 遺伝子変異の有無で比較検討したもので、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、aCGH による変化領域および EGFR 変異により判断した結果と病理学的診断との一致率は各々83%と 88%と高率であり、今後、これらの手法が分子生物学的補助診断法になり得るものと大いに期待される。 以上のように本論文は、肺癌の外科病理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			